

4 にちめ) かいごぎじゅつえんしゅうひょう てじゆんしよ かいどうれい  
**【4日目】介護技術演習表（手順書）解答例**

しょくじ かいご  
**食事の介護**

さとうじろう ちょうしょく たべる しょくどう てーぶる くるま いどう いす すわって  
 佐藤二郎さんは、朝食を食べるため食堂のテーブルまで車いすで移動し、椅子に座っています。

しょくじ え ふといす ぶーん しょう せつしゆ あさ て うごきにくい ちょうしょくじ  
 食事は絵の太いスプーンを使用し摂取していますが、朝は手が動きにくいので、朝食時のみ  
 ぜんかいじょ せつしゆ  
 全介助で摂取しています。

さとう じょうたい かくにん ちょうしょくかいじょ おこなって  
 佐藤さんの状態を確認しながら、朝食介助を行ってください。

主な支援の手順	支援の手順の留意点や要点・ポイント	行動の理由（根拠）
<p>りようしゃ けんこうじょうたい                      ① 利用者の健康状態の                      かんさつ                      観察をする</p>	<p>なまえ よび あいさつ おこなう                      ① 名前を呼び挨拶を行う                      かおいろ ごえ ちょうし かんさつ ねむれたか                      ・顔色や声の調子を観察しよく眠れたか                      かくにん                      確認する</p>	<p>じょうたい おうじたあんぜんあんしん かいご                      ① 状態に応じた安全安心な介護を                      ていきよう                      提供するため                      しょくじ かくせい                      食事はしっかり覚醒していることで                      ごえん ちっそく ぼうし                      誤嚥や窒息を防止できる</p>
<p>おこなうかいじょ                      ② これから行う介助の                      せつめい おこない いし かくにん                      説明を行い、意思の確認                      をする</p>	<p>ちょうしょく じかん て                      ② 朝食の時間であること、手が                      うごきにくいので、こちらで介助を                      せつめい                      することを説明する。                      ・「はい」「いいえ」で答えられるように                      ほんにん いし かくにん                      本人の意思を確認する</p>	<p>ちょうしょくじ ぜんかいじょ おこなって                      ② 朝食時は全介助を行っているが                      せつめい ほんにん いし まいあさかくにん                      説明をして、本人の意思は毎朝確認を                      する。                      しつごしやう                      失語症がある。                      たんぶん しつもん かのう                      短文の質問は可能なため</p>
<p>はいせつ て                      ③ 排泄をすませ、手を                      せいけつ                      清潔にする</p>	<p>しょくじまえ はいせつ                      ③ 食事前に排泄をうながす                      てあらい                      手洗いをする                      ・患側は自身に洗ってもらう                      けんそく かいじょ すいぶん                      ・健側は介助し水分をふきとる</p>	<p>しょくじかんきやう ととのえる きもち                      ③ 食事環境を整えることで、気持ちよ                      しょくじ とる                      く食事を摂ることができる。                      せいけつ しょくじ たべる                      清潔に食事を食べるため。                      はいせつ りゆう しょくじ ちゆうだん                      排泄を理由に食事を中断してしまわ                      ないよう配慮する</p>
<p>しょくじしゆだん てきせつ                      ④ 食事手段の適切な                      せんたく ぶつびん かくにん じゆんび                      選択、物品の確認・準備                      する。</p>	<p>え ふといす ぶーん じゆんび                      ④ 柄の太いスプーンを準備する。</p>	<p>つうじやう え ふといす ぶーん しょう                      ④ 通常は、柄の太いスプーンを使用                      しょくじ おこなって かいごしゃ かいじょ                      し、食事をやっている。介護者が介助を                      おこなうばあい ほんにん じぶん たべられる                      行う場合も、本人が自分で食べられる                      かんきやう ととのえて                      環境は整えておく。</p>
<p>はいぜん いち はいりよ                      ⑤ 配膳の位置に配慮す                      する</p>	<p>しょくさつ ないふく ばあい くりぶりくる                      ⑤ 食札、内服がある場合は薬袋の                      かくにん                      確認                      めにゆー                      ・メニューをつたえる                      さとう しょくじ                      ・佐藤さんが食事をとりやすいように、                      はいぜん いち かくにん                      配膳の位置を確認する。</p>	<p>みえ やすく つかい やすく はいぜん                      ⑤ 見えやすく、つかいやすく配膳する                      じぶん                      自分でたべることもあるため、食器が                      しょつき                      取りやすいよう配膳する</p>

りようしゃ しせい かくにん  
⑥ 利用者の姿勢の確認  
をする。

じりつ むけたしえん  
⑦ 自立に向けた支援を  
おこなう  
行う

しょくご りようしゃ じょうたい  
⑧ 食後の利用者の状態  
とう かんさつ おこなう  
等の観察を行う

しょくじしせい  
⑥ 食事姿勢をととのえる  
いす ふかくこし  
・椅子に深く腰をかけているか  
そくてい ゆか  
・足底は床についているか  
いす てーぶる きより てきとう  
・椅子をテーブルの距離は適当か  
みぎがわ て てーぶる のせる  
・右側の手をテーブルに乗せる  
じょうたい たおれない すわって  
・上体が倒れないように座っているか  
かくにん  
を確認する。

ぜんかいじょ  
⑦ 全介助であるが、ご自身で食べられる  
ものは食べてもらうように言葉がけを  
する。

かいごしゃ かいじょ ひだりがわ  
・介護者は、介助をすることから、左側  
ぜんぽう よこ ならんですわる  
ななめ前方が横に並んで座る。  
しょくじ たべるまえ すいぶん ひとくちの んで  
・食事を食べる前に水分を一口飲んで  
もらう。

しょくじないよう みな がら かいじょ おこなう  
・食事内容を見ながら介助を行う

1かいりょう すぶ ーん いっぱい  
・1回量はスプーン一杯  
かお あわせる  
・顔を合わせる  
いそがない  
・急がない

のみ こみ かくにん つぎ  
飲み込みを確認してから次のたべもの  
を口にのける。

くち たべもの  
口のなかに食べ物がいっぱいにならな  
いように注意する

しょくよく たべかた せつしりょう しょくじ  
⑧ 食欲、食べ方、摂取量など食事  
じょうきょう かんさつ おこなう  
状況の観察を行う。

おうと きぶん わるく ぜんしんじょうたい  
・嘔吐や気分が悪くないかの全身状態  
かんさつ おこなう  
の観察を行う

ごえんよぼう  
⑥ 誤嚥予防のため  
ひろう さいしょうげん  
・疲労を最小限にする  
そしゃく えんげ すむ ーず おこなえる  
・咀嚼、嚥下をスムーズに行えるため

じぶん たべるばあい かいごしゃ  
⑦ 自分で食べる場合は、介護者は  
りようしゃ かんそく いち  
利用者の患側に位置する  
かいじょ おこなうばあい りようしゃ  
介助を行う場合は利用者がたべやすい  
けんそく かいごしゃ いち  
健側に介護者は位置する。

えんげ すむ ーず だえき  
・嚥下をスムーズにするため、唾液の  
ぶんびつ そくしん そしゃく えんげ じょうたい  
分泌を促進し咀嚼・嚥下しやすい状態  
になる

ごえんよぼうし  
・誤嚥防止  
こんだて せつめい たべたい じゆんぼん  
・献立の説明や食べたい順番などを、  
さとう いうし かくにん いしき  
佐藤さんの意思を確認。意識をすること  
で、誤嚥予防にもつながる。

たのしく たべて もらうためにも じぶん  
たのしく食べてもらうためにも自分で  
食べてみるよう あぶる ーち おこなう  
食べてみるようアプローチを行う  
しょくじちゅうこえ  
食事中声をかけるときは、のみ こんだ  
飲み込んだ  
ことを確認してから 声をかける

しょくじじょうきょう かんさつ ほんにん けんこう  
⑧ 食事状況の観察は、本人の健康  
じょうたい はあく  
状態の把握にもつながるため、  
しょくじちゅう しょくご しょくじせつしりょう かんさつ  
食事中、食後、食事摂取量の観察を  
おこなう  
行う。